

令和7年度 企業版ふるさと納税 対象事業





令和7年度 対象事業

宇和島市では「第3期まち・ひと・しごと創生宇和島市総合戦略
～デジタル田園都市国家構想の実現に向けて～」に位置付けられて
いる事業が、企業版ふるさと納税の対象事業となります。

令和7年度における取組の一部をご紹介します。



頁	事業	地域課題	総合戦略(位置付け)
1・2	宇和島産品の販路拡大や各種フェア実施事業	地域特性を活かした産業・経済の活性化	宇和島産品の販路拡大によるシティセールスの推進
3	農林業新規就業者支援事業		農林水産業を柱とした地域の産業力強化
4	水産業の産業力強化事業		魅力の発信による「住みたい・行きたい・帰りたい」の実現
5	中小企業者等応援事業		商工業者支援及び市内就業の取組
6	地域イノベーション拠点整備事業		地域特性を活かした産業・経経済の活性化と雇用の場の創出 廃校の利活用を通じたコミュニティ拠点等の整備
7	新伊達博物館整備事業		観光振興事業(市内の交流人口の増加及び観光振興の向上)
8	移住・定住促進事業	若年者を中心とした人口流出と少子高齢化の進行	魅力の発信による「住みたい・行きたい・帰りたい」の実現
9	青少年市民協働センター(ホリバタ)事業		宇和島の未来を支える人材の育成・確保
10	青少年市民協働センター(ホリバタ)改修事業		
11	奨学金返済支援事業		
12	芸術文化を活用した地域振興事業 ～まちの賑わい創出～	シティブランド力の向上	関係人口・交流人口の創出
13	結婚推進事業	若年者を中心とした人口流出と少子高齢化の進行	若い世代が希望通りに結婚できる出会いと結婚の応援
14	子育て支援事業		安心して子どもを産み育てることができる環境の充実
15	公園等遊具整備事業		子どもたちの心身の健全育成と、安全に安心して過ごせる居場所づくりの推進
16	協働のまちづくり推進事業	協働のまちづくりの推進	地域連携力の強化による持続可能なまちづくり
17	公共交通空白地域の解消等事業	持続可能なまちづくりの推進	
18	地域防災力強化事業(自助・共助・公助の推進)	頻発化、激甚化する豪雨災害などに対する備え	安全・安心で誰もが住みやすいまちづくり

●宇和島産品の販路拡大や各種フェア実施事業

【総合戦略】 宇和島産品の販路拡大によるシティセールスの推進

都市部への地場産品の販路開拓支援や、都市部の企業・団体等と連携した販売促進活動を行うとともに、国内姉妹都市との連携を通じて、地域情報の発信等による宇和島市への観光誘客を展開することにより、地域特性を生かした産業・経済の活性化と雇用の創出を図っています。

01 姉妹都市との連携

取組事例 姉妹都市間における経済交流の促進

▶ 姉妹都市でのPR活動

国内姉妹都市と連携し、宇和島フェアや大手企業の社員を対象とした社内販売会の開催、各種交流イベントへの参加を通じて、宇和島市の認知度やブランドイメージの向上と、国内姉妹都市との経済交流を図ります。

事業費 6,236,000 円



取組事例 姉妹都市等における観光誘客

▶ 姉妹都市での観光プロモーション活動

姉妹都市における各種商談活動に合わせて、宇和島市の観光プロモーション活動を行います。

営業先

- ・ 姉妹都市：仙台市
- ・ 旅行代理店：仙台市内

事業費 620,000 円



02

都市部による 販路開拓強化

取組事例

首都圏等での販売促進活動と販路開拓支援



▶ 首都圏等でのPR活動

首都圏等において宇和島マルシェなどを開催し、特産品の販売などを通じて宇和島市の魅力を発信します。



▶ 販路開拓支援

個別商談会の開催や大規模商談会に宇和島市ブースを出展し、地元企業の販路開拓支援を行います。

事業費 17,071,000 円

問合せ先

市長公室 シティセールス推進係 Tel:0895-49-7085 Mail:city-sales@city.uwajima.lg.jp
商工観光課 観光係 Tel:0895-49-7023 Mail:shoko@city.uwajima.lg.jp

●農林業新規就業者支援事業



【総合戦略】農林水産業を柱とした地域の産業力強化
魅力の発信による「住みたい・行きたい・帰りたい」の実現

宇和島市に移住して、農業・林業に挑戦したい 50 歳未満の方を支援します。

01 農業就業支援



事業費 4,990,000 円

就業支度金

移住・就業後に支給します。



36 万円

※県内移住者は 18 万円

定住支援金

移住・就業後1年経過毎に最長3年間支給します。



最大 70 万円

※県内移住者は 35 万円

住宅支援金

最長5年間支給します。

※家賃の額または2万円のうちいずれか少ない額



最大 120 万円

※2万円/月×60 月

02 林業就業支援



事業費 4,196,000 円

就業支度金

移住・就業後に支給します。



36 万円

※県内移住者は 18 万円

定住支援金

移住・就業後1年経過毎に最長3年間支給します。



最大 70 万円

※県内移住者は 35 万円

住宅支援金

最長5年間支給します。

※家賃の額または2万円のうちいずれか少ない額



最大 120 万円

※2万円/月×60 月

●水産業の産業力強化事業



【総合戦略】農林水産業を柱とした地域の産業力強化
魅力の発信による「住みたい・行きたい・帰りたい」の実現

漁業従事者の高齢化や担い手不足による産業の衰退を防ぐため、移住・就業支援による担い手確保や優良アコヤガイ系統の確立による真珠産業の活性化を図ります。

01 漁業就業支援



- ・国事業「長期研修事業」を受けている方が対象となります。
- ・当市に転入後 1 年以内に漁業に従事する等の条件を満たした方が対象となります。
- ・独立型・雇用型、研修期間によって、金額や支援期間が異なります。

漁業経営(独立)または、就業(雇用)を目指して研修を行う 50 歳未満の方を支援します。

就業支度金

移住・研修開始後に支給します。



36 万円

※県内移住者は 18 万円

住宅支援金

独立型は最長4年間、雇用型は最長2年間支給します。

※家賃の額または2万円のうちいずれか少ない額



・独立型:最大96万円

※2万円/月×48 月

・雇用型:最大48万円

※2万円/月×24 月

定住支援金

研修開始後1年経過毎に独立型は最長3年間、雇用型は最長2年間支給します。



・独立型:最大 70 万円

※県内移住者は 35 万円

・雇用型:最大 50 万円

※県内移住者は 25 万円

事業費 2,860,000 円

02 真珠母貝生産対策



令和元年夏から続くアコヤガイ稚貝のへい死については、新種のウイルスが原因とされ、その対策が急務です。愛媛県漁協各支所と連携し、へい死耐性を持つ優良アコヤガイの作出を目指すとともに、アコヤガイ稚貝漁場のモニタリング調査を実施し、漁業者を対象に情報を周知することで、へい死軽減を目指します。

宇和島市

稚貝漁場の
モニタリング調査

愛媛県漁協各支所

- ▶ モニタリング調査の結果から、へい死発生時期を予測
- ▶ アコヤガイ親貝候補の選定



- ▶ 注意喚起発出
- ▶ 種苗生産委託

事業費 3,233,000 円

問合先

水産課 水産係 Tel:0895-49-7024 Mail:suisan-ce@city.uwajima.lg.jp

●中小企業者等応援事業

8 働きがいも
経済成長も



【総合戦略】 商工業者支援及び市内就業の取組

市内の中小企業者、組合等の事業強化を図るための積極的な取組や新たに起業される方を支援することで、地域経済の底上げを図っています。エネルギー価格をはじめとする物価高騰の影響を受けて厳しい経営環境の中で、前向きに頑張っている事業者の方を引き続き支援します。

01

中小企業者等
への応援



事業費 25,000,000 円

主な支援メニュー

▶ 産業財産権取得事業

「特許権、実用新案権、意匠権及び商標権の国内出願並びに外国出願」を支援します。

▶ 大学新卒者人材確保事業

「主として大学又は大学院の新卒者を採用する目的で行う宣伝及び求人サイトへの登録並びに就職説明会への出店または開催」を支援します。

▶ 新規創業事業

「市内での店舗又は事業所の開設、市内に登録事項証明書における本店を有する法人設立」を支援します。

▶ PR力強化事業

「ライブコマース、商品PR用動画の制作」を支援します。

支援額



上限 50 万円

補助率 1/2

問合せ先

商工観光課 商工係 Tel:0895-49-7080 Mail:shoko2@city.uwajima.lg.jp

●地域イノベーション拠点整備事業



【総合戦略】地域特性を活かした産業・経経済の活性化と雇用の場の創出
廃校の利活用を通じたコミュニティ拠点等の整備

廃校となった石応（こくぼ）小学校を企業誘致が可能な地域イノベーション拠点施設としてリノベーションし、地方創生に関心の高い都市部の企業と地元企業との共創推進と、新たな地域住民のコミュニティ創出による地域活性化を目指します。

01 廃校モールプロジェクト

本市の遊休施設である廃校を地域イノベーション施設として整備し、デジタル技術を活用することで、過疎地域だからこそ可能となる全く新しいモデル拠点の創出に挑戦！

取組事例

▶ 地域ビジネスの創出

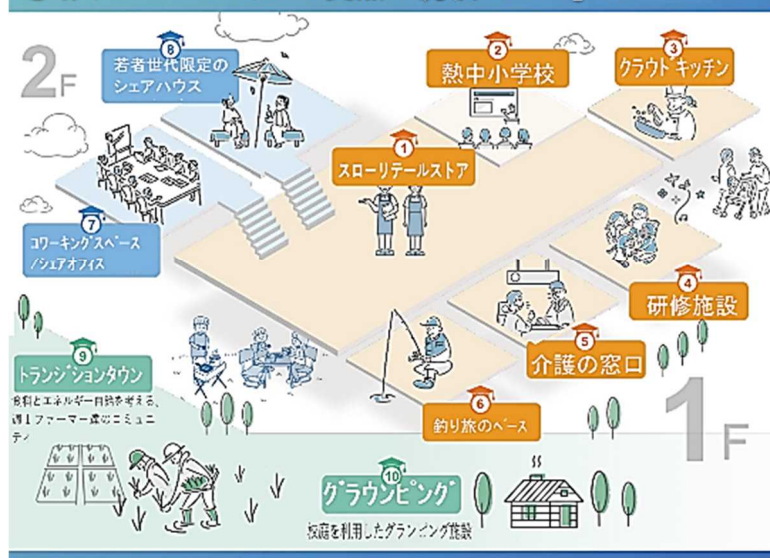
地域と都市部の企業との共創による新たなビジネスの創出
・改修した1階オフィススペースを、都市部の企業へ貸し出し、地域への人の流入を図る。

▶ 交流機会の創出

- ・校舎配膳室を飲食分野における地域起業および地域資源を活用したコンテンツ開発を支援する「チャレンジキッチン」として改修する。
- ・校舎2階部分を都市部からの若者を受け入れ可能とする施設に改修する。

事業費 5,000,000 円

地域イノベーションの拠点「廃校モール」イメージ



問合せ先

企画課 企画係 Tel:0895-49-7003 Mail:kikaku1@city.uwajima.lg.jp

●新伊達博物館整備事業



【総合戦略】観光振興事業(市内の交流人口の増加及び観光振興の向上)

貴重な文化財を後世へと確実に伝えていくため、新伊達博物館の整備を行います。

01

新伊達博物館整備

2028 年春
会館予定



宇和島の歴史文化を未来へ

新伊達博物館



応援
寄附金

新伊達博物館整備事業の寄附金を募集します

伊達博物館は、宇和島藩10万石の歴史と文化を伝える施設ですが、1974年の開館から約50年を経過し、老朽化が著しく進行しています。貴重な文化財を後世へと確実に伝えていくため、2028年春に開館を予定している新伊達博物館の整備事業等に活用する寄附金を募集します。






皆様の温かいご支援をお待ちしております。

紫系威二枚胴具足 宇和島藩祖伊達秀宗所用 [宇和島市立伊達博物館蔵]

宇和島市立伊達博物館



問合先

伊達博物館 Tel:0895-22-7776 Mail:date-mu@city.uwajima.lg.jp

●移住・定住促進事業

【総合戦略】 魅力の発信による「住みたい・行きたい・帰りたい」の実現

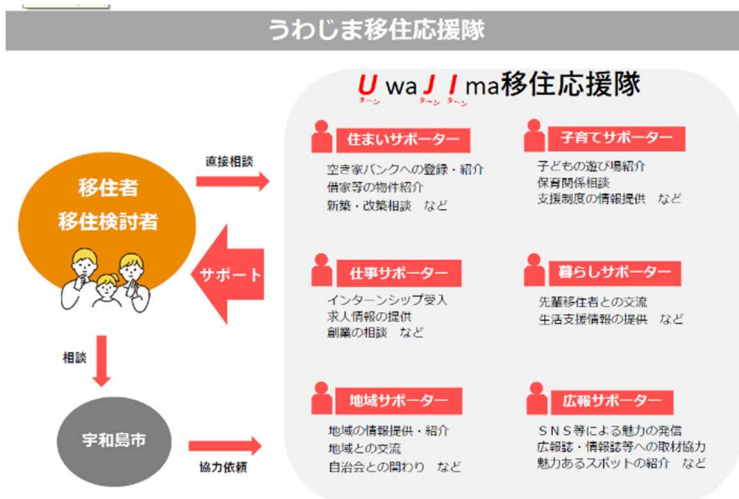
「宇和島に興味がある」「宇和島で暮らしたい」「宇和島に住み続けたい」方を応援し、人口減少に歯止めをかけます。

01 移住・定住促進対策

主な取組

▶ うわじま移住応援隊

- ・オール宇和島で移住者及び移住検討者をサポートすることを目的として設置した「うわじま移住応援隊」との連携をさらに強化し、移住者等とのつながりをさらに深めることで、定住人口の増加と地域活性化を図ります。



▶ 移住体験による移住促進

- ・移住体験ツアーや移住体験住宅等により、市内での移住体験機会を提供し、移住に対する不安を軽減し、移住促進につなげます。

▶ 移住者・若者の暮らしを応援

- ・UIターンを促進するため、奨励金等を給付するほか、移住者や子育て世帯の住宅取得にかかる負担軽減を図るため、「住むなら宇和島応援金」を給付します。

住宅の新築・中古住宅の購入に対する支援



上限 50 万円



事業費 105,497,000 円

●青少年市民協働センター(ホリバタ)事業



【総合戦略】 宇和島の未来を支える人材の育成・確保

「宇和島に残ろう・戻ろう・関わろう」とする人を育む、
“宇和島の未来を創る”事業です。青少年のチャレンジを
応援し、活動人口を育む「人づくり」に取り組んでいます。

事業費 8,111,000 円

01 場づくり

家でも、学校や職場でもないサードプレイスとして、主に中高生を中心としたユースが日常でヨリモチできる居場所・活動拠点をつくっています。



・おしゃべりや勉強、ワイワイ作業をしたり、ゲームなども楽しめる賑やかなラウンジ、個人利用の静かな自習室、グループで利用できる個室などを整備。一人ひとりのスタイルに合わせて、利用されています。

02 きっかけづくり

多様な分野に触れる・地域や社会を知る・多様な人と接する企画などで、興味関心を広げたり、将来の選択肢を増やすなど、若者の世界を広げます。



取組事例

- ▶ 中高生と大学生と一緒に、フィールドワークやグループワークをしたり、地域の人との交流を行いながら地域づくりにチャレンジするプロジェクト
- ▶ 高校生が、ブランディングのプロから学びながら、アート作品を創ってまちに展示することを通じて、自由な発想を形にするクリエイティブの力を養うカリキュラム
- ▶ 中高生、大学生世代のまちづくり活動に対する補助金(最大 10 万円 10/10 補助)

問合せ先

生涯学習課 中央公民館 Tel:0895-49-7112 Mail:u-chuuo-ph@city.uwajima.lg.jp

●青少年市民協働センター(ホリバタ)改修事業



【総合戦略】 宇和島の未来を支える人材の育成・確保

青少年市民協働センター(通称:ホリバタ)で実施する「持続可能な地域社会の創り手の育成」を目指す事業をさらに推進するため、施設を改修し利用者の利便性を高めます。

青少年市民協働センター(ホリバタ)： 中央公民館内に設置

01

拠点・備品整備



市立中央公民館1階フロア(ホリバタ)の改修・施設整備
(若者の居場所・活動拠点の改修による新価値創造(施設リノベーション)改修工事費)

若者の居場所・活動拠点としての新価値の創造・備品購入

目的・効果

- ▶ 若者の活動拠点として新たな価値を付加することにより、若者のチャレンジを応援します。
- ▶ 新たな場を活用したソフト事業の拡充により、若者と地域との連携を促進し、地域の活性化を目指します
- ▶ 若者たちの創造性を育み、双方向の協働が生まれる仕掛けを取り入れた改修とし、ホリバタが、若者と地域との接点となり、関係人口を含めた人材の環流が生まれる場します。

整備内容

- ▶ 施設1階フロアを若者にとって魅力あるサードプレイスとしての価値を高め、ソフト事業との相乗効果を図るリノベーションを行います。
- ▶ 構造に影響のない壁や扉を撤去し、用途・シーンに応じてゾーニングを明確にしながらも使いやすい配置とし、各種イベント、自学習やワークショップ等の普段使い、あるいは交流やゲーム等を楽しめるくつろぎ空間等、目的に応じて自由に活用できる空間とします。
- ▶ 機能面においては、イベントステージ、ミーティングルーム、オープンキッチン、カウンター、展示スペースなどを新規設置することで、これまで以上に多様で幅広い活動に対応できるようにします。

事業費 185,241,000 円



問合せ先

生涯学習課 中央公民館 Tel:0895-49-7112 Mail:u-chuuo-ph@city.uwajima.lg.jp

●奨学金返済支援事業



【総合戦略】 宇和島の未来を支える人材の育成・確保

UIターンして地元就職した若者に対して、奨学金の返済を支援する事業を実施しています。この奨学金返済支援事業を通じて、若者の移住定住、地元就職の促進を図り、活力ある宇和島の実現を目指しています。

01 奨学金返済支援



最大 100 万円
(20 万円×5回)

交付申請年度の前年度奨学金返済額
×
2/3(上限額 20 万円)

※ 新規就業者等の奨学金返済金の一部を5回補助します。



対象者

※次の条件をすべて満たす必要があります。

- ▶ 交付申請年度の年齢が40歳以下で、宇和島市に住民票があり、現に居住している人で、引き続き5年を超える期間、宇和島市に居住する意思のある人
- ▶ 平成27年3月1日以降、企業等に就職し、1年以上継続して就労している人(起業者、第一次産業従事者を含む)
- ▶ 奨学金の返済を遅延なく行っている人
- ▶ 国、県及び宇和島市の奨学金返済支援を目的とした補助金等の給付を受けている場合は、補助金算定対象期間が重複していないこと

対象奨学金

- ▶ 日本学生支援機構奨学金(第一種、第二種)
- ▶ 愛媛県奨学資金
- ▶ 宇和島市奨学資金
- ▶ その他市長が認める奨学金

事業費 14,000,000 円



●芸術文化を活用した地域振興事業～まちの賑わい創出～



【総合戦略】 関係人口・交流人口の創出

宇和島が持つ魅力を国内外に発信するアートフォートの祭典「宇和島フォトフェスティバル 2025」を ALL 宇和島の体制で実施します。

国内外の優れた写真家たちのアート作品をパブリックアート化。美しい自然と豊かな暮らし、独自の文化と歴史を紡いできた宇和島で、アートの力によって既成概念を覆すような新しい写真体験をお届けします。

01 宇和島フォトフェスティバル

事業費 120,000,000 円

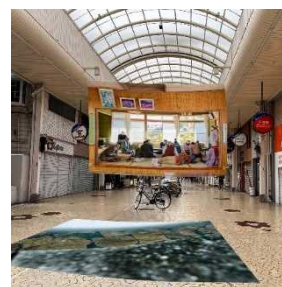
開催時期 令和 7 年 10 月 25 日～11 月 24 日

会場 宇和島城、中心部の商店街ほか



Islands in Motion 動き出す故郷

- ▶ 入り組んだリアス式の海岸線と、島のように点在する小さな集落
- ▶ 宇和島の風景は、まるで海に浮かぶ「動く島々」のように、ひとつひとつが独立しながらも、見えない絆でつながっています。
- ▶ 「Islands in Motion | 動き出す故郷」は、そんな宇和島の地理的・文化的特性に焦点を当て、そこに暮らす人々の営みや視点の変化に光をあてる写真フェスティバルです。
- ▶ 過疎化や高齢化、社会の分断が語られる現代において、この地には動きがあります。
- ▶ 移動、対話、記録、再生。写真家たちが見つめるのは、静かな風景の中に潜む小さな変化、そして未来への兆しです。
- ▶ かつては内に閉じていた場所が、いまゆっくりと外へと開かれていく。「動き出す故郷」は、そんな宇和島の現在形をとらえるための、新しい視点を提示します。



問合先

市長公室 シティセールス推進係 Tel:0895-49-7085 Mail:city-sales@city.uwajima.lg.jp

●結婚推進事業

【総合戦略】若い世代が希望通りに結婚できる出会いと結婚の応援

結婚の希望を叶えるための事業を推進しています。

01 結婚相談・お見合い 仲介

うわじま MI センターを拠点に、結婚相談やお見合いの仲介、出会いイベントなどを実施。同センター内に「えひめ結婚支援センター愛結びコーナー」を併設し、2つの結婚相談機関を通して幅広い支援と出会いの選択肢を提供しています。



事業費 3,281,000 円

02 婚活イベントの支援

民間団体等による結婚推進活動支援を通して、地域の活性化を図ります。

民間団体等が実施
する婚活イベント



最大 20 万円



事業費 400,000 円

03 結婚新生活支援

若者が結婚の希望を実現できるよう、婚姻に伴う新生活を経済的に支援することで、結婚を契機とする環境整備にかかる経済的負担の軽減を図ります。

事業費 40,000,000 円

●子育て支援事業



【総合戦略】 安心して子どもを産み育てることができる環境の充実

子育て環境の充実のための事業を推進しています。

01 「木のおもちゃ」贈呈



ご誕生お祝い品として、地元産木材を使用した木製玩具を贈呈し、木育を推進しています。

事業費 2,570,000 円

02 「育児用品」レンタル



乳幼児の成長支援と、保護者・祖父母の経済的負担軽減のために、育児用品のレンタルをご利用いただけます。

事業費 3,300,000 円

03 保育士の不足対策

保育士不足を解消し、子育て世帯が安心して生み育てることができる環境作りを推進しています。

- ▶ 市内保育所等に就職する保育士の引越費用等を補助するほか、保育士等として勤務していない有資格者への私立保育所等への就職を支援する取り組みを行います。

事業費 2,000,000 円



最大 20 万円

問合せ先

こども家庭課 Tel:0895-49-7054 Mail:kodomoka@city.uwajima.lg.jp

●公園等遊具整備事業



【総合戦略】子どもたちの心身の健全育成と、安全に安心して過ごせる居場所づくりの推進

公園遊具の更新を行い、子育て環境の充実・市民サービスの向上を図ります。

01 公園遊具の更新

取組事例

都市公園及び児童遊園の老朽化した遊具の整備

- ▶ 市内8か所の公園遊具を更新
- ▶ 遊具:シーソー、すべり台、スイング遊具、ブランコ、鉄棒



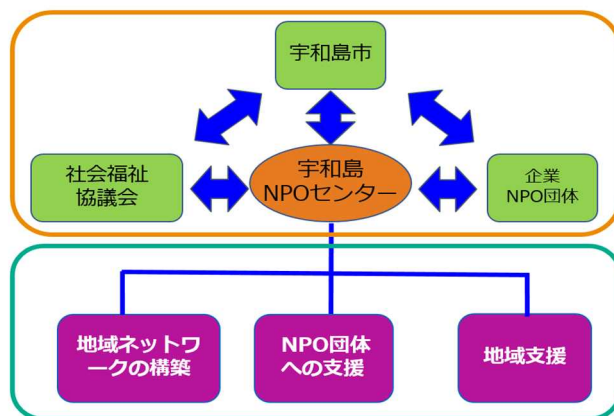
事業費 35,000,000 円

●協働のまちづくり推進事業

【総合戦略】 地域連携力の強化による持続可能なまちづくり

行政・民間を問わず、多様な主体が連携して、協働のまちづくりを推進するためには、地域ネットワークの強化及びNPO団体等が参加することが重要です。

当市では、地域の課題解決に向けた活動の支援を行い、その中核を担う「中間支援組織」と連携した取り組みを実施しています。



01 地域ネットワークの構築

- ▶ 情報共有会議(牛鬼会議)の運営・開催
- ▶ NPO 団体の交流の場づくりの実施
- ▶ 協働を推進するための協議体の設立・課題解決支援の実施
- ▶ NPO まつりの開催



ワークショップの運営・開催

02 NPO団体への支援

- ▶ NPO 団体のプロフィールの作成・更新
- ▶ 市内外の NPO 団体の情報発信支援の実施
- ▶ 連携可能な支援団体への接続の実施



NPO 団体の支援

03 地域の相談窓口

- ▶ 相談窓口の設置、地域の情報発信の実施
- ▶ 窓口サロンスペースの提供による地域住民の交流促進



相談窓口でのサロンの開催

事業費 7,000,000 円

●公共交通空白地域の解消等事業

【総合戦略】 地域連携力の強化による持続可能なまちづくり

01 地域モビリティ

公共交通空白地域の解消及び交通弱者の移動利便性の向上のため、地域住民が主体となった地域モビリティの(実証)運行を行います。

取組事例

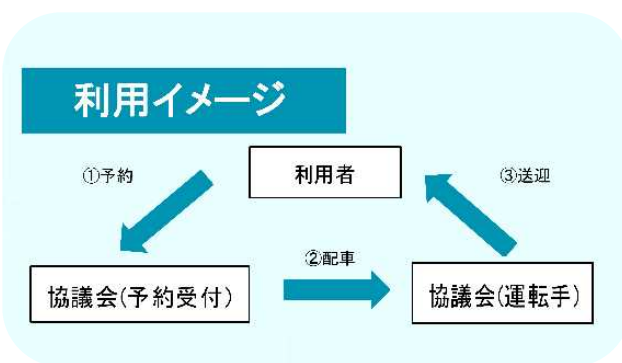
離島2地区において地域モビリティを運行

- ・戸島地区(R6より本格運行)
- ・日振島地区(R6より実証運行)

事業費 3,850,000 円



地域へ軽自動車を貸与



▶ 戸島地区 地域モビリティ本格運行

- ・運行主体 : 戸島地区地域づくり協議会
- ・運行地域 : 戸島地区(本浦、小内浦、郡)内
- ・運行日 : 平日及び土曜日
- ・運行時間 : 7時から17時
- ・利用料金 : 1回お一人様 100 円(片道)
- ・利用方法 : 原則、運行日の前日までに電話による予約
- ・使用車両 : 軽自動車1台(4人乗り)※市の公用車



▶ 日振島地区 地域モビリティ実証運行

- ・運行主体 : 日振島地区地域づくり協議会
- ・運行地域 : 日振島地区(喜路、明海、能登)内
- ・実施期間 : 13か月間(令和6年9月～令和7年9月)
- ・運行日 : 月曜日・水曜日・金曜日
- ・運行時間 : 13時から16時
- ・利用料金 : 1回お一人様 200 円(片道)
- ・利用方法 : 原則、運行日の前日までに電話による予約





●地域防災力強化事業

【総合戦略】安全・安心で誰もが住みやすいまちづくり

近い将来に発生するおそれがある南海トラフ巨大地震などの大規模災害に備えて、「自らの命は自らが守る」という「自助」を基本に、自分自身や家族を守り、地域で助け合う「共助」を推進するため、自主防災組織等への支援や育成、避難対策の充実化等を通じて、地域防災力の強化を図っています。

また、「公助」として、宇和島市地域防災計画に基づき、防災対策および災害応急対策に必要な資機材や備蓄品等について、避難所等への計画的な備蓄を進めています。

01 自主防災組織等への支援

取組事例

- ▶ 活性化支援事業補助金
- ▶ 結成支援事業補助金
- ▶ 防災活動補助金
- ▶ 消火栓ホース格納箱等設置費補助金
- ▶ 防災共用型放送設備整備事業補助金



02 避難対策の充実化

取組事例

- ▶ 津波緊急避難路等整備事業補助金
- ▶ 要配慮避難者等宿泊施設利用補助金



手すり設置



照明設置

事業費 154,714,000 円

03 避難所等への計画的な備蓄



事業費 20,010,000 円

問合せ先

危機管理課 危機管理係 Tel:0895-49-7006 Mail:kikikanri@city.uwajima.lg.jp

お問い合わせ先

市長公室 ふるさと納税係

Tel : 0895-49-7088

Mail : furusato@city.uwajima.lg.jp

総務部 市長公室